

三重県史

資料編 中世 2

一、収録にあたっては、次の表記を用いた。

(1) 虫損・欠損によって文字が判読不能の場合、字数を推定できるものは□□で示し、文字数が明らかでない場合は□□□□とした。

(2) 文字が抹消されている場合は、左傍にミを付け、訂正された文字を右傍に記した。抹消された文字が、塗抹もしくは判読不能の場合は、■で示した。

(3) 朱書は『』に入れた。また墨合点は(一)、朱合点は(一)とし、挿入部分は()で示した。

(4) 異筆・後筆・付箋・端裏書・ウワ書などの部分は「」に入れ、それぞれ注記した。

(5) 校訂や人名・地名などに関わる注記には()を用いた。なお、文字に疑義のあるものは(ママ)(○○カ)、

脱字の場合は(○○脱)(○○脱カ)、文字・文章が重複する場合は(衍)(衍カ)と注記した。また、虫損・欠損以外での判読不能部分は、虫損・欠損と同一の符号を用いた。

一、草名・花押などは本文内では模刻せず、(草名)(花押)とした。また印章も、特定のものを除いて(印)(黒印)とし、印形を模刻した場合は、黒印・朱印の別を注記し、印文の判読可能なものはそれも付記した。

一、包紙及び本紙端裏のウワ書については本文の前に配置し、それぞれ(包紙ウワ書)(端裏ウワ書)と注記した。

折紙及び礼紙のウワ書については本文の後に配置し、それぞれ(ウワ書)(礼紙ウワ書)と注記した。また、封の明らかなものについては、それも付記した。

一、本巻編者の注記は、その頭に○を付け、各文書の後に配置し、本文と区別した。

一、収録文書に含まれる身分差別に関わる用語・表現については、差別の史実を認識する立場からそのまま掲載した。それは、人権問題を正しく

目次

口 絵

序

凡 例

第一部 県内文書

一	大井文書……………	3
二	大福田寺文書……………	11
三	竹内文平氏所蔵文書……………	13
四	法盛寺文書……………	31
五	明光寺文書……………	31
六	小串文書……………	32
七	法泉寺文書……………	33
八	鴨神社文書……………	34

九	観音寺文書	35
一〇	黒田文書	41
一一	興正寺文書	41
一二	善教寺文書	42
一三	大樹寺文書	95
一四	中山寺文書	97
一五	龍泉寺文書	98
一六	苗代神社文書	100
一七	本間文書	102
一八	観音寺文書	107
一九	栗本文書	109
二〇	酒井神社文書	112
二一	真田幸成氏所蔵文書	121
二二	寿福院文書	122
二三	神宮寺文書	123
二四	高野文書	124
二五	深溝自治会所蔵文書	125
二六	龍光寺文書	126

二七	岡本文書	128
二八	石上寺文書	131
二九	地藏院文書	135
三〇	瑞光寺文書	136
三一	波多野文書	155
三二	上部文書	159
三三	久善寺文書	161
三四	坂口茂氏所蔵文書	162
三五	松禅院文書	162
三六	諸家文書	169
三七	影写本所収文書	183
三八	上宮寺文書	189
三九	西来寺文書	191
四〇	石水博物館所蔵文書	192
四一	大手鑑所収文書	192
四二	佐藤文書	196
四三	手鑑所収文書	209
四四	八坂神社文書	212

5	諸家文書	242
元	大宝院文書	244
元	遠山文書	255
四	三重県立図書館所蔵文書	260
四	三重県立博物館所蔵文書	261
1	伊藤又五郎文書	261
2	田中繁三氏旧蔵文書	262
3	吉沢文書	297
4	諸家文書	298
四	山形泰一氏所蔵文書	301
四	結城神社所蔵文書	303
四	円光寺文書	312
四	浄光寺文書	314
四	信光寺文書	320
四	別所文書	321
四	益川文書	322
四	蓮蔵寺文書	325
四	青巖寺文書	325

五	成願寺文書	326
五	北畠神社所蔵文書	358
五	佐藤文書	359
五	野田耕一郎氏所蔵文書	364
五	池村浩則氏所蔵文書	373
五	射和文庫所蔵文書	373
1	射和寺文書	373
2	諸家文書	383
五	一乗寺文書	387
五	飯福田寺文書	388
五	恵良宏氏所蔵文書	389
六	延命寺文書	396
六	小津氏所蔵文書	398
六	賀茂文書	398
六	熊野新宮本願庵主文書	400
六	継松寺文書	414
六	浄眼寺文書	417
六	長井文書	422

㉮	堀江文書……………	423
㉯	松ヶ崎神社文書……………	425
㊦	松阪市教育委員会所蔵文書……………	426
㊧	松阪市郷土資料室所蔵文書……………	426
㊨	本居宣長記念館所蔵文書……………	427
㊩	来迎寺文書……………	428
㊪	龍泉寺文書……………	432
㊫	野呂文書……………	435
㊬	大西春海氏所蔵文書……………	436
1	大西春海氏所蔵文書……………	436
2	大西源一氏収集写真帳……………	443
㊭	近長谷寺文書……………	445
㊮	浄光院文書……………	447
㊯	浄土寺文書……………	448
㊰	津田神社文書……………	449
㊱	秦文書……………	474
㊲	安養寺文書……………	475
㊳	竹大與杼神社文書……………	502

㊴	智禪寺文書……………	522
㊵	朝熊町有文書……………	522
㊶	一字田町有文書……………	538
㊷	岩井田文書……………	554
㊸	大主文書……………	557
㊹	大湊古文書……………	561
㊺	河崎商人館所蔵文書……………	603
㊻	皇學館大学国史学科研究室所蔵文書……………	604
㊼	皇學館大学史料編纂所所蔵文書……………	608
㊽	皇學館大学附属図書館所蔵文書……………	610
㊾	新築寺文書……………	612
㊿	世義寺文書……………	621
㊿	通町有文書……………	623
㊿	中川文書……………	628
㊿	中幸次氏所蔵文書……………	629
㊿	福島文書……………	630
㊿	法住院文書……………	639
100	村松町会所蔵文書……………	645

一〇一	久野庸直氏所蔵文書	645
一〇二	東端文書	646
一〇三	松下区有文書	650
一〇四	無量寺文書	654
一〇五	田曾北村文書	655
一〇六	竈方文書	658
一〇七	古和文書	666
一〇八	小倉文書	670
一〇九	松林文書	673
一一〇	石鏡漁業協同組合所蔵文書	674
一一一	小浜漁業協同組合所蔵文書	676
一一二	国崎神戸文書	686
一一三	庫蔵寺文書	692
一一四	八代神社文書	700
一一五	林昌寺文書	709
一一六	船越文書	710
一一七	阿児ライブラリー所蔵文書	713
一一八	磯部郷土資料館所蔵文書	727

一一九	山田区有文書	734
一二〇	上野市立図書館所蔵文書	737
一二一	岡村文書	739
一二二	春日神社文書	752
一二三	西蓮寺文書	758
一二四	白井文書	758
一二五	朱雀文書	766
一二六	藤堂文書	768
一二七	念仏寺文書	770
一二八	平岡文書	772
一二九	春日神社文書	773
一三〇	下柘植区有文書	792
一三一	萬寿寺文書	793
一三二	木津文書	801
一三三	中弥太郎氏所蔵文書	804
一三四	土屋文書	815
一三五	名張市教育委員会所蔵文書	816
一三六	柏尾区有文書	817

一三〇	北山区大祭講有文書	824
一三〇	梶田文書	828
一三〇	在司文書	833
一三〇	山本泉氏所蔵文書	839
一三四	西文書	840

第二部 光明寺関係

一	光明寺文書	849
二	国立公文書館所蔵光明寺古文書	870
三	国立歴史民俗博物館所蔵光明寺古文書	1159
1	祭主御教書案内二十三通	1159
2	大神宮領山地位文書外十七通	1162
3	祭主下文并御教書共十七通	1167
4	散位大中臣書状案内二十六通	1170
四	下郷共済会所蔵文書	1171
五	『光明寺旧記』所収文書	1172

総合解説・史料解題	1175
資料提供者および協力者	1221
あとがき	1224

別冊 細目次・花押集

別冊 伊勢神宮所蔵文書補遺

口絵目次

- 1 豊臣秀吉朱印状（岡本文書）
- 2 織田信長朱印状（大湊古文書）
- 3 不動尊像結縁衆交名（継松寺文書）
- 4 御炊大夫忠良為替切手（恵良宏氏所蔵文書）
- 5 度会広光処分状（光明寺文書）
- 6 かめいし借錢状（萬寿寺文書）
- 7 内宮一禰宜荒木田氏成御教書（鴨神社文書）
- 8 室町幕府禁制（石上寺文書）
- 9 神事頭番帳（磯部郷土資料館所蔵文書）
- 10 三宝院門跡滿濟御教書（松下区有文書）
- 11 阿弥陀如来納入経結縁交名（四日市市 龍泉寺文書）
- 12 佐藤氏系図（佐藤文書）
- 13 荒布船許可状（八代神社文書）
- 14 真盛上人書状（西蓮寺文書）
- 15 北畠具教奉行人禁制（来迎寺文書）
- 16 浅野忠長書状（西文書）